

まちの課題をワクワクに変える

2026
メンバー募集

参加費無料
定員40名程度

山台まちづくり若者ラボ



“やってみたい”をやってみる半年間

仙台を歩き、聞き、考え、やってみる。まちとの接点をつくる半年間。

専門的な知識や経験は必要ありません。ワークショップで仲間とテーマを考え、フィールドワークでまちに出て、人や場所と出会う。仙台の魅力や課題を見つけながら、自分たちなりの小さなアクションにつなげていくプログラムです。

第1回

出会う・テーマを考える
ワークショップ

7月4日±

🕒 13:00 - 16:30

フィールドワーク

第2回

まちに出た気づきを共有する
ワークショップ

8月5日水

🕒 19:00 - 21:00

フィールドワーク

第3回

中間報告・深める
ワークショップ

9月30日水

🕒 19:00 - 21:00

フィールドワーク

第4回

小さなアクションをまとめる
ワークショップ

11月4日水

🕒 19:00 - 21:00

フィールドワーク

第5回

報告会

12月5日±

🕒 14:00 - 16:15

第1回ワークショップの流れ

13:00～ 市長挨拶
13:10～ 若者ラボの説明
13:30～ ゲストスピーカー講演
14:10～ アイスブレイク
14:35～ グループワーク

ゲストスピーカー
合同会社MEDIAHOLIC 代表
TOHOKU360 代表

安藤 歩美 氏

東京大学公共政策大学院修了後、産経新聞記者として宮城県に赴任し、東日本大震災の被災地取材。独立後、2016年に東北で住民参加型ニュースサイト「TOHOKU360」を立ち上げ、編集長に。以降、NHK仙台のラジオ番組やニュース番組のパーソナリティー等、さまざまな媒体で「伝える」仕事を経験。2026年より東海大学文化社会学部広報メディア学科講師に就任し、課題解決のためのメディアデザインに取り組む。



参加対象（申込必要）

仙台市に在住または通勤・通学する
4月1日時点で18歳から30歳までの方で
● 仙台のまちづくりに興味のある方
● 何か新しいことを始めたい方

2025年度は、学生や社会人計39人が参加

※参加者は、申し込み内容をもとに選考します。＊フィールドワークの参加に要する交通費を支給します。（ワークショップ会場までの交通費は自己負担となります）

参加申込はこちら



募集期間

令和8年 5月25日 月 ~ 6月25日 木

会場

● 第1回ワークショップ
青葉山公園 仙臺緑彩館 交流体験ホール
〒980-0863 仙台市青葉区川内追廻無番地

● 第2・3・4回ワークショップ / 報告会
仙台市市民活動サポートセンター 地下1階 市民活動シアター（予定）
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

「もっと知りたい!」「初めてでちょっと不安・・・」と感じた方は裏面へ ▶▶▶

「仙台」のすてきな魅力と一緒に見つけに行きませんか？

2025年度の様子



「仙台パパの楽しい子育て作戦会議」を開催



コワーキングスペース運営者へのインタビュー



仙台市内の観光スポットを見学し、魅力を再発見



気軽に防災を話せる「防災カフェ」を開催



歴史や地域の魅力を掘り起こし、まち歩きマップを制作



長町の社会実験で握力測定ブースを設置

2025年度

参加者からのメッセージ

- 「まちづくり」と聞くと大きなことのように思っていたのですが、自分たちでも小さなことからできることがあると気づくことができました。(学生)
- 地元ではない仙台市の課題や現状を自分ごととして捉え、より身近に感じることができるようになりました。(学生)
- 「まちづくり」と聞くと難しそうに感じるかもしれませんが、若者ラボでは日常生活の延長線上で「まちづくり」を考えることができます。完璧な答えを持っていなくても大丈夫。考えながら動いてみたい人には良いきっかけになります。(社会人)



よくあるご質問

Q. まちづくりの経験がなくても参加できますか？

- A. もちろん参加できます。専門的な知識や経験は必要ありません。
「仙台のことをもっと知りたい」「何か新しいことを始めてみたい」という気持ちがあれば大丈夫です。

Q. どのくらい活動しますか？

- A. 7月上旬から12月上旬までの約半年間で、全体で集まる機会は月1回程度を予定しています。
そのほか、グループごとに各ワークショップの間にフィールドワークや話し合いを行います。

Q. 具体的にどんな活動を行いますか？

- A. グループでテーマを決め、まち歩きやインタビューを通じて仙台の魅力や課題を調べます。
その後、自分たちにできる小さなアクションを考え、最後に活動内容を発表します。

【活動例】まち歩き／インタビュー／グループでの話し合い／SNS発信／アンケート／イベントなどの小さなアクション／報告会での発表



▶ せんだいTube



YouTube



SNS「Teamマチカツ!【仙台市】」



Instagram



X (旧Twitter)



Facebook

